

リニューアルしたJR松山駅に広告ディスプレイを展開 高輝度な画面で、期待通りの視認性と訴求力を実現



1階 コンコース



2階 エスカレーター横

導入先

株式会社ジェイアール四国企画さま

- 香川県高松市(本社)
- 1997年、JR四国の広告部門が分社化して設立。JR四国グループのハウスエージェンシーとして業務範囲を拡大し、現在では幅広い業種のクライアントのニーズに対応できる総合広告事業を展開されている。

- JR松山駅(設置場所)/愛媛県松山市



導入商品

インフォメーションディスプレイ

PN-HS751 (75V型) ×4台
PN-HW651 (65V型) ×1台
PN-P436 (43V型) ×4台
e-Signage S ネットワーク版

- 2024年9月、26年4月導入。JR松山駅のコンコース、2階エスカレーター横に設置し、広告や発車時刻案内の表示に用いられている。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

2024年9月、JR松山駅がリニューアルオープン。駅舎の新築や、土産物店や飲食店が入居する商業エリアの整備などで、駅を利用する人の増加が見込まれるため、コンコースに動画広告を表示できる大型ディスプレイを設置することになりました。

画面が高輝度で見やすく、広告媒体として期待通りの視認性と訴求力を確保できました。

ディスプレイは長時間の連続稼動に対応し、導入実績も豊富なため、信頼性があります。

他駅のサイネージとともにコンテンツ更新をe-Signage Sで一括管理でき、操作が簡単です。



株式会社 ジェイアール四国企画
交通メディア部
担当課長 細川 皓司さま

■ 導入の背景

JR 松山駅がリニューアルで利用客が増加。 コンコースに広告用ディスプレイ設置を計画。

愛媛・松山の玄関口、JR松山駅が約15年におよぶ高架化工事を経て、2024年9月にリニューアルオープンしました。駅舎が新築され、高架下には土産物店や飲食店が入居する商業エリア「だんだん通り」も登場。駅の周辺開発も計画されており、駅を利用する人の増加が見込まれたことから、新しい駅の設計段階から計画を立て、コンコースに動画広告を表示できる大型ディスプレイを設置することになりました。

■ 選ばれた理由

導入実績豊富なシャープ製は安心して使える。 期待通りの視認性があり、訴求力もメリット。

駅は多くのお客さまが利用する場所なので、ディスプレイ選びでは、長時間、安定して運用できることを重視しました。シャープ製は16時間/日～24時間の連続稼働に対応可能なおうえ、他のJR系の広告代理店に駅で運用しているディスプレイを問い合わせると、シャープ製の導入実績が非常に多く、信頼できることが第一のポイントでした。シャープの展示会で現物を見たところ、画面が高輝度で見やすく、広告媒体として期待通りの視認性と高い訴求力を確保できる点もメリットでした。

■ 導入後の効果

立地の良さが広告主に好評で出稿希望増。 コンテンツ更新はe-Signage Sで一括管理。

駅のコンコースの柱2本に75V型のディスプレイを各2台ずつ計4台設置しています。ディスプレイは改札口から出てきても「だんだん通り」から出てきても正面に見えるので、広告主に好評で、広告出稿希望が増えています。その他、2階エスカレーター横に発車時刻案内と広告を組み合わせた43V型を4台、広告用の65V型を1台設置しています。コンテンツの更新はJR四国の主要4駅(松山・高松・徳島・高知)のサイネージを一括管理しているe-Signage Sでおこなっており、操作が簡単です。

■ 今後の展望

地域の盛り上げと活性化にも貢献へ。 駅の特徴に合わせ、より魅力的な媒体に。

今後は、見やすく訴求力の高いデジタルサイネージを生かし、地域を盛り上げ活性化させることにも貢献していきたいと考えています。四国管内のJRの主要4駅の特徴や利用状況に合わせてデジタルサイネージの活用を考え、お客さまにより魅力的でわかりやすい媒体を目指していきたいと思っています。



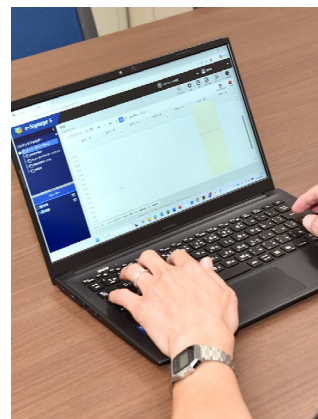
改札を出て正面に見える75V型のディスプレイ



2階の43V型ディスプレイは発車時刻案内と広告を組み合わせ



65V型ディスプレイはベンチ横に



配信はe-Signage Sで一括管理